

第 75 回卒業証書授与式



3月 | 日(金)、第75回卒業証書授与式が挙行されました。地震の影響で高校の体育館が使用できない 状況にあり、穴水中学校の施設をお借りして行われました。

島崎康一校長は、1月1日に発生した能登半島地震について触れ、「負けない強さ」について述べました。 「皆さんには無限の可能性があります。努力が成果につながらないときもあります。そんなときには、『焦 らず』、『腐らず』、『あきらめず』に、『負けない強さ』を持ってください。目標を掲げ、努力を続けてくだ さい。必ず明るい未来が待っていると信じて。」と式辞を述べました。





また、穴水町から吉村光輝穴水町長をお招きし、心温まる祝辞をいただきました。保護者を代表して七海 友也PTA会長からも励ましの祝辞を頂きました。

在校生を代表して2年生の古道慶太さんが送辞を、卒業生を代表して松村光流さんが答辞を述べました。 松村さんは周囲への感謝の言葉を述べたあと「今日この場を巣立つ全員が、未曾有の能登半島地震を体験 し、停電、断水、家屋の倒壊、身近な人との別れを体験したことにより、強く能登の復興のために立ち上が ろうと心に刻んだことは、これから社会の荒波の中に出ていく上でとても大切な試練だったと思います。」 と述べ、最後に「能登は決して負けません!」と力強く語りました。

卒業生達は最後に保護者席の前で整列し感謝の言葉を伝え、学び舎を巣立っていきました。 卒業生のこれからの活躍を職員一同祈っています。



穴水中学校で学校再開





1月1日に発生した令和6年能登半島地震から2ヶ 月がたちました。本校の施設も大きな被害を受け、 現在は校舎と登校坂の復旧を進めているところで す。 穴水町のご支援により、1月22日(月)より、 穴水中学校の3階教室を一部お借りして授業を再開 しました。

遠方に避難した生徒もいましたが、全校生徒の 半数近くが集まり、担任やクラスメイトとの久々の 再会を喜びあっていました。

現在、授業の形態は、登校できる生徒は対面で、 登校が難しい生徒はリモートで参加しています。 また、2月14日(水)から、高校生が受験の中学 3年生に週2回、学習支援を行いました。





リモートでは授業中の相談や意見交換が難しく、対面で学習をサポートする良い機 会ということで、「中学生が解けなかった問題を高校生に対面で解説してもらう」と いう形で進めています。

学習会に参加した高校生は「自分がわかっていることを人にわかりやすく教えるの は、自分がそのことを十分に理解していないと難しいと思いました。短い時間だった けど、勉強以外の、高校のことや地震の体験など話すことができて良かったです。」 と述べ、学習だけでなく、交流を深める良いきっかけとなりました。

「のとてまり」収穫・初競り

2月16日(金)、昨年12月13日にハウスに入室して2年生が世話をしてきた「のと115」の収穫を行いました。 1月1日に起きた能登半島地震で原木が全て倒れる被害を受けましたが、この日に何とか「のとてまり」8個入り1箱 を出荷することができました。2月17日(土)早朝、金沢市中央卸売市場にて競りが行われ、8個入り1箱が金沢市駅 西本町の青果卸売会社「堀他」さんに11万円で競り落とされました。これは穴水高校が競りに出荷し始めて過去2番目

の高値となります。生徒らは「雪の中水やりに行くのがとても大変だった。地震で今年はもう出せないかと思ったけど、 たくさんのシイタケを収穫できて良かったと思います。高値がついてうれしいです。| など

と感想を述べていました。

ご協力いただいた奥能登原木しいたけ 活性化協議会の方々や全農いしかわの皆 様ほか関係の方々に厚く御礼申し上げま す。ありがとうございました。







3月行事予定

第75回卒業証書授与式 1(金)

6(zk) 学力検査(~7日)

国公立大中期日程 8(金)

12(火) 国公立大後期日程

14(木) 学力検査合格発表(正午:穴水中学校)

予備入学 (穴水高校) 19(火)

終業式、離任式、大掃除



ご支援ありがとうございました!

今回の災害にあたり、たくさんの方々からご支援を いただきました。穴水町はもとより、いち早く支援物 資や生徒への差し入れなど提供して下さった方々・団 体に感謝申し上げます。復興への道のりは始まったば かりで、まだまだ様々な方面での支援を必要としてい るのは本校だけではありませんが、今回いただいた 支援を何らかの形でいつの日かお返しできる ことを生徒・職員一同心より願っています。

